

# ざ・神港労連

金曜日

2025年1月10日

発行元  
神戸港湾労働組合連合会教育宣伝部



## 2025年度 神港労連・新春旗開き開催

2025年1月10日(金)神戸メリケンパークオリエンタルホテルにて2025年度神港労連・新春旗開きが総勢102名の参加者の元、盛大に開催された。

### 吉岡執行委員長新年の挨拶

また、神戸港メガパス構想の最中、昨年9月に発表された船社のアライアンス再編によって、作業体制が変わる事が想定され、雇用・職域を大前提に中央と足並みを揃え協議していく所存であります。これまでの歴史の中、専業労使がお互い結束し、職域を守ってきた事は、歴史ある港として誇り高い事だと思います。本年度も山積する諸課題に向け、神港労連として取り組む決意とし所信表明とさせていただきます。

2024年度は、国内港湾の年末年始例外荷役に関して、日本港湾の象徴として元日を除く「364日フルオープン化」を2001年度から途切れなく実施してきたが、労使間の協議が整わず23年振りの不稼働の形となった。「働き方改革」・人手不足など就労環境が変化する中、日本の港湾にとっても考えなければならぬ事案でありました。しかし、この取り組みが神戸港、日本の港にとって本当に良かったのか十分に検証する必要があります。国内に於いては、世界情勢の影響により物価が高騰し、近年高水準の賃上げが追い付いておらず実質賃金の低下が感じられ、生活への圧迫を物語っており、神戸港として、若年層や入職希望者に注目される安定した賃金体系の確立・労働環境整備が肝要と考えております。

### 所信表明「賑わいある神戸港」



本会の司会と進行役を神港労連 大石書記長が大役を務められた。

### 労働者の為となる、春闘



竹内中央執行委員長、挨拶

2025年「新春旗開き」開催、誠にありがとうございます。神港労連に於かれましては、吉岡執行委員長をはじめ、神港労連に結集する仲間の皆様方に対し、日港労連の中核組織として、日々、御尽力を賜っていることにつきまして改めて御礼申し上げます。さて、我々を取り巻く情勢としまして、産別を含めた各労使諸課題について通年協議となっており、既に24春闘の取り組みから



主催者である吉岡執行委員長

### 【編集後記】

身近なニュース・出来事があれば記事として取り扱いますので、神港労連事務局までご連絡ください。(取り扱いに関して事務局で精査した上で、掲載致します。)

☎078-371-5316

☎078-371-5340

25港湾春闘は始まっているといえます。そして、今月末から開催されます中央委員会を通しまして、改めて、25港湾春闘の取り組みの在り方について議論し、決意を全体で確認し我々港運専業・現業労働者の為となる、春闘としなければなりません。そういった意味からも、我々港運専業・現業労働者の為となる取り組みを引き続き講じていける力の継続を共に誓い合ひまして、年頭に当たった決意とさせていただきます。